

患者・利用者・地域のみなさまへ

NI 日本医労連

全国いっせい行動に
ご理解・ご協力をお願い致します

**2023
秋闘**

医療崩壊・介護崩壊させないために

私たち日本医労連加盟の労働組合は、11月9日、安全・安心の医療・介護と暮らしを守るために、生活改善できる一時金の獲得、医療・介護従事者の大幅増員・労働条件の改善、社会保障の充実などを求めて、ストライキを含む行動を全国の仲間とともにを行っています。

皆様のご理解とご協力をお願い致します。

**いのちを守る
医療・介護・福祉労働者として**

憲法改悪に反対です

私たち医療・介護・福祉労働者は、「いのち」を守る労働者として、平和と人権を否定する憲法改悪に反対します。平和な社会でこそ、よい医療・看護・介護・福祉が提供できると考えます。

安全・安心の医療・介護実現のため、
人員増と処遇改善を求める国会請願署名

署名のお願い



深刻な人員不足の解消には
賃金・労働条件の大幅な改善が必要です

新型コロナウイルス感染拡大により、入院が必要なのに入院できない「医療崩壊」や、介護が受けたくても受けられない「介護崩壊」が現実となりました。これは、感染対策の遅れはもちろんですが、他の先進諸国と比べても圧倒的に少ない医師や看護師、介護職員や保健師の不足が根本的な原因です。

人手不足が長年続いている状況を解消するためには、全てのケア労働者の処遇改善は待たなしの状況にあり、16時間連続で働き続けなくてはならない過酷な長時間夜勤や、寝る間もない極端に短い勤務間隔などを解消することも喫緊の課題です。

私たちは、コロナ禍でも安定した医療・介護の体制を確保するためにも、賃金の大幅な引き上げと、労働条件の改善で、働き続けることのできる職場づくりをめざしています。

安全・安心の医療・介護実現のため
人員増と処遇改善を求める

国会

**安全・安心の医療・介護実現のため、
医師・看護師・
介護職員の
大幅増員を
署名にご協力ください**

現状把握
新型コロナウイルス感染拡大により、入院が必要なのに入院できない「医療崩壊」や、介護が受けたくても受けられない「介護崩壊」が現実となりました。これは、感染対策の遅れはもちろんですが、他の先進諸国と比べても圧倒的に少ない医師や看護師、介護職員や保健師の不足が根本的な原因です。

課題把握
1. 安全・安心の医療・介護を実現するためには、安全・安心な労働環境の確保が不可欠です。
2. 医師や看護師、介護職員に対する処遇改善の遅れが、人材不足の原因の一つです。
3. 長時間労働や夜勤、勤務間隔の短縮など、労働条件の改善が必要です。
4. 医師・看護師・介護職員の増員が必要です。

署名にご協力ください

氏名 _____

〒 _____

連絡先(電話番号) 03-7110-0013

NI 日本医労連 全大協 自治労連

日本医療労働組合連合会

東京都台東区入谷1-9-5 医療労働会館3階
TEL:03-3875-5871 FAX:03-3875-6270
メール:n-ask@irouren.or.jp